

Istanbul Weekly vol.4-no.36

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2015年9月18日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：AKP 党大会でダーヴトオール首相が党首に再選。
AKP 新体制でもエルドアン大統領の影響力が継続。
- 経済**：第2四半期 GDP 成長率、3.8%。
TUSIAD、Boydak ホールディング幹部の拘留に懸念を表明。
- 治安**：タイ爆発テロの主犯中国籍のウイグル人、イスタンブールへ逃亡か。
- 軍事**：イラク国内での PKK 対象軍事作戦の継続を明言。
- 社会**：移民の増加に伴い国際結婚も増加。
世界の大学ランキングで、トルコの5大学が500位内にランクイン。

政治

【内政】

●AKP 党大会でダーヴトオール首相が党首に再選。

12日、アンカラ市内において、第5回 AKP 党大会が開催され、単独立候補となったダーヴトオール首相が全会一致で再選された。「原点への回帰」をスローガンに掲げた同大会では、ダーヴトオール首相が、PKK によるテロ事件等での治安関係者の殉職を追悼しつつ、国家の安定と平和に向けて取組を強化し、11月1日の再選挙を勝利する決意を表明した。（9月13日付H紙1面他）

●AKP 新体制でもエルドアン大統領の影響力が継続

12日及び13日、党中央決定執行委員会（50名）及び中央執行委員会（15名）が発表され、前者ではエルドアン大統領に近いと見られる委員が31名を占めるなど、同大統領の影響力が引き続き継続している。一方で、ギュル前大統領に近い有力委員（アルンチ元副首相、アタライ元副首相、ババジャン元副首相ら）の排除も含め、ダーヴトオール首相の作成した執行部原案にエルドアン大統領が影響力を行使したとの見方がある（9月13日付M紙インターネット版）

●AKP の4選禁止規定の適用が変更

AKP の党内規で国会議員の連続3期までとする規定（4選禁止規定）について、6月7日総選挙で3期目を迎えた議員については、組閣が成立せずにすぐに再選挙が決定された経緯も踏まえ、これを1期と数えず、11月1日の再選挙に出馬できることが決定した（9月14日付H紙インターネット版）

●世論調査結果：AKP 支持率は41.4%

世論調査機関のメトロポール社は、9月初旬に約2500名を対象に実施した世論調査結果を発表。これによると、AKP の支持率は41.4%で、6月7日総選挙とほぼ同様の数字であった他、CHP27.3%、MHP15.3%、HDP13.0%となった。（9月16日付当地H紙インターネット版）

●各党の再選挙立候補が締切

18日、11月1日再選挙に向けた各党の立候補者届出が締

切を迎えた。14時現在、MHP が候補者リストを高等選挙委員会に提出したが、党の有力者であるメラル・アクシェナル前国会副議長が同リストから漏れたことが注目された。（9月18日付M紙インターネット版）

【外交】

●エルドアン大統領、東エルサレムでの衝突事案を非難

13日に東エルサレムの神殿の丘でイスラエル警察とパレスチナ人の中で衝突が発生した件に関し、エルドアン大統領は14日、国連が断固とした対応をとるよう呼びかけた。また、同大統領は、アッバース・パレスチナ自治政府大統領と電話会談を行い、情勢について協議した。（9月14日付M紙インターネット版）

経済

【マクロ経済】

●第2四半期 GDP 成長率、3.8%

統計庁によると、今年第2四半期のGDP成長率は、予想を上回り前年同期比3.8%。

シムシェッキ財務大臣は、年間GDP成長率は政府目標の4%を下回る可能性があるが、自動車、住宅及び家電部門における力強い販売傾向は、穏やかなペースであっても経済が成長していることを示していると述べた。同大臣によると、世界的な経済の低迷により、純輸出が上半期の経済成長率を1.2ポイント引き下げたが、内需の成長率の貢献は4.4%であり、うち3.4ポイントは民間消費による。（9月11日付HD紙10面）

●7月の経常赤字、31億5000万ドル

中央銀行によると、7月の経常赤字は前年同期比32%増の31億5000万ドル。国内需要の増加と輸出減が響いた。（9月11日付HD紙10面）

●8月の自動車生産、34%増加

自動車工業会によると、8月の自動車生産は34%増の7万

7000 台。1～8 月では前年同期比 19%増の 85 万 7000 台。
(9 月 11 日付 HD 紙 11 面)

●5～7 月期の失業率、9.6%に上昇

統計庁が 15 日に発表したデータによると、5～7 月期の失業率は、前年同期比 0.5%上昇し 9.6%。非農業部門での失業率は前年同期比 0.5%上昇し 11.7%。若年層（15～24 歳）の失業率は、同 1%上昇して 17.7%となった。(9 月 16 日付 HD 紙 10 面)

【観光業】

●ホテルの客室、過剰供給

業界関係者によると、今シーズン、多くのホテルで客室が過剰供給となっており、アンタルヤのホテルの多くが今シーズン室料の値下げを強いられている。6 月の客室稼働率は前年同月比 7.6%減少し 68.6%。(9 月 14 日付 HD 紙 11 面)

【企業等の動き】

●TUSIAD、Boydak ホールディング幹部の拘留に懸念を表明

TUSIAD は 16 日、同協会の理事である Boydak ホールディングの Memduh Boydak 氏が、反政府的なギュレン派への関与等を理由に他の企業関係者等とともに拘留された件に対する懸念を表す声明を発表した。同声明では、厳しい告発で経済界を脅かすような事を終わらせなければならないと主張。警察は、カイセリで、テロ取締りの一環として、企業経営者や大学関係者を含む 11 名を拘留していた。(9 月 17 日付 HD 紙 1、2 面)

●ドアン・ホールディング子会社、スズキの代理店に

ドアン・ホールディングの新子会社 Suzuki Motor Vehicles Marketing Co は、スズキの代理店として、販売及びアフターサービスを行う予定。スズキは以前、Haco グループによる代理店をトルコに置いていた。(9 月 17 日付 HD 紙 11 面)

治安

●HDP デミルタシュ共同党首への捜査始まる

ディヤルバクル検察庁は、HDP のデミルタシュ共同党首が、先週アンカラの HDP 本部が襲撃された後に実施した演説の内容が「公に共和国を侮辱した罪」「テロ組織のプロバガンタを行った罪」に触れるとして捜査を開始し、同党首の不逮捕特権の停止手続きを進めていると発表。デミルタシュ共同党首は「捜査は政治的であり、自分の発言はいかなる犯罪にもあたらない」と述べた。(9 月 11 日付 HD 紙 3 面)

●PKK が車両爆弾攻撃、警察官 2 名死亡

13 日早朝、シュルナック県において、PKK が警察の検問ポイントに対して車両爆弾攻撃を実施し、警察官 2 名が死亡し、5 人が負傷した。また、警察署を RPG ロケットで攻撃し、警察官 3 名が負傷した。攻撃に関わった PKK 戦闘員 2 名は、直後に実施された軍による空爆で死亡した。(9 月 14 日付 HD 紙 1 面)

●PKK が道路修復作業中の警察にロケット攻撃、警察官 1 名死亡

13 日、ディヤルバクル県シルバン郡において、PKK によって路上に掘られた穴を埋め戻す作業をしていた警察の重機に対して PKK がロケット攻撃を実施。重機を操作していた警察官 1 名が死亡、市民を含む 2 名が負傷した。(9 月 14 日付 HD 紙 1 面)

●シュルナック県ジズレの外出禁止が 9 日ぶりに一時解除
シュルナック県ジズレにおいて PKK 掃討オペレーションのため県知事によって布告されていた外出禁止令が 9 日ぶりに解除された。外出禁止令の間、救急車は活動せず、水も電気も止まり、電話やインターネット回線がかろうじてつながるだけの状態であったという。(9 月 14 日付 HD 紙 2 面)
13 日午後 7 時、一旦は解除されていたジズレの外出禁止令が再び発令。外出禁止期間中にジズレでは市民等 16 名が死亡。

(9 月 14 日付 HT 紙 2 面)



(写真は同紙インターネット版から)

●カドゥキョイで洪水

12 日局地的大雨の影響でイスタンブール市内アジア側のカドゥキョイで通りなどが浸水し交通が遮断された。洪水に飲み込まれた車両を消防隊が救出し、住民達が排水作業に尽力し、死傷者は出なかった。

(9 月 14 日付 HD 紙 3 面)



(写真は同紙インターネット版から)

●週刊誌出版社へ一斉捜索

14 日、エルドアン大統領を侮辱した容疑で、政治週刊誌「ノクタ」の出版社が警察の捜索を受け、同誌の編集長が「大統領侮辱罪」と「テロ組織プロバガンタ罪」で拘束された。同紙は、PKK との戦闘で殉職した兵士の葬式をバックに、笑顔で携帯で記念写真を「自撮り」するエルドアン大統領の合成写真を掲載しようとしたという。(9 月 15 日付 HD 紙 1 面)

●タイ爆発テロの主犯中国籍のウイグル人、イスタンブールへ逃亡か

8 月 17 日にタイのバンコクで発生した 20 名が死亡した爆弾テロ事件について、タイ警察は、事件の主犯とされる中国籍のウイグル人アブドレヘメン・アブドサタエルについて、「事件前日 8 月 16 日にタイからバングラデシュへ出国し、8 月 30 日にバングラデシュからニューデリーとアブダビ経由で、イスタンブールへ向かった。イスタンブールが彼の最終目的地だ。」と発表した。

これまでの捜査で、タイ政府は、事件はウイグル系密輸組織による犯行の可能性が考えられるとしているが、7 月にタイ政府が中国からの亡命希望のウイグル人 100 名を中国

へ強制送還したことに対するイスラム過激派による報復という見方も強い。(9月15日付HD紙9面)



(写真は同紙インターネット版から)

●インドネシア人等 ISIL 参加企図者拘束

14日、キリス県で ISIL へ参加するためシリアへ渡ろうとしていた外国人計 11 名が拘束された。内訳はフランス人 1 名、インドネシア人が 10 名。(9月15日付C紙3名)

●トウンジェリ県で大規模 PKK オペレーション

15日早朝からトウンジェリ県で、県知事の命令により、同県の山岳部を通るトウンジェリ県とエルジンジャン県を結ぶ道路やトウンジェリ県とエラズー県を結ぶ主要道路を 3 本を封鎖して、PKK に対する大規模オペレーションが開始された。

(9月17日付HD紙1面)

●HDP の代表団が PKK とカンディル山で協議

HDP のフィゲン・ユクセクダーを含む 8 名のメンバーが、イラク・カンディル山で PKK の上部組織である KCK の幹部と協議し、現在の治安情勢から 11 月 1 日の選挙について幅広く話し合った模様。この協議は、同メンバーが、先週 9 日間の外出禁止令が出されたジズレを訪問した後、イラクのエルビル等を訪れ、同自治区を影響下に置くイラク・クルド愛国党等を訪問した際に、急遽開催が計画されたという。(9月17日付HT紙4面)

●ISIL 関連容疑で 165 人が拘束中

大統領府報道官は、「約 165 人の容疑者を、ISIL 関連の容疑で現在拘束中」と発表した。また、「トルコ政府は、ISIL との戦いを継続しており、我々自身の戦いと同時に、有志連合に参加して空爆も実施している」「国境沿いにフリーゾーンを設定しようとする我々の努力も続けられている」「ISIL 関係で、トルコが入国禁止措置を取った者は 2 万人に及び、約 500 人が拘留されている」等と述べた。(9月16日付HD紙9面)

●PKK 攻撃で警察官 3 人死亡

15日午後 11 時 40 分、マルディン県のヌサイピン郡において、パトロール中の警察装甲車に対する PKK による路肩爆弾攻撃があり、乗車していた警察官のうち 3 名が死亡、1 名が重傷を負った。攻撃の直後から、PKK に対する大規模掃討作戦が実施され、付近の道路は封鎖された。(9月17日付HD紙3面)

●PKK 攻撃で被疑者護送中の警察官 2 名と被疑者が死亡

ハッキヤリ県知事府は、ハッキヤリ県の道路上で、被疑者を移送中の治安当局の車両に対する PKK による路肩爆弾攻撃があり、乗車していた警察官 2 名が死亡し、護送中の被疑者 1 名も死亡したと発表。(9月17日付HD紙3面)

軍事

●有志連合がキリス県国境直近の ISIL を空爆

14日、有志連合軍は、キリス県国境からシリア国内約 10Km の位置にある ISIL の拠点に対する空爆を実施。同空爆の様子は、キリス県側からも見られたことから、キリス住民

の間ではパニックが発生。トルコ治安部隊は、国境の警備を強化した。(9月15日付HD紙1面)

●イラク国内での対 PKK 軍事作戦の継続を明言

15日、トルコ外務省報道官は、イラク当局からのイラク領内への空爆に関する批判に対し、「トルコは、断固として、北イラクにおける PKK に対する軍事作戦を継続する」と発言。(9月16日付HD紙9面)

社会

●サビハギョクチェン空港、工事の影響で 2 便に 1 便が遅延

今年に入ってサビハギョクチェン空港で遅延が頻発しており、8月の平均遅延時間は 51 分、定刻での離発着の割合は 46%であった。遅延の原因として、平日の深夜 1 時 30 分から早朝 5 時 30 分にかけて滑走路で行われている工事や乗客数の増加(昨年度 8 月と比較して 21%増)が挙げられる。一方、空港当局は 9 月 24 日から 27 日のクルバンバイラム(犠牲祭)中、工事を中断する方針で、バイラム中の遅延は減少する見込みだ。(9月11日付 HT 紙 9 面)

サビハギョクチェン空港での遅延状況

期間	定刻離発着の割合	平均遅延時間
5月	73.90%	35.3分
6月	67.30%	37分
7月	62.30%	42.6分
8月	46%	51.2分

●移民の増加に伴い国際結婚も増加

トルコ統計局(TUIK)が発表した 2014 年度報告書によると、トルコ国内で外国人花嫁が多い県は、イスタンブールで 4106 人、続いてアンタルヤが 1581 人、アンカラが 1022 人となり、トルコ国内での外国人花嫁の総計は 1 万 6866 人にも上る。一方、花嫁の国別割合では、ドイツ人が 2672 人、シリア人が 2049 人、アゼルバイジャン人が 1596 人、ロシア人が 1442 人と続く。なお、トルコ人と結婚した外国人は、結婚後にトルコで居住権を申請すると 1 年間、2 回目の申請時には 1-3 年間の一時的な居住権が得られる。3 年間の間に離婚しなければ、トルコの国籍申請が可能となる。(9月14日付 HT 紙 21 面)

●世界の大学ランキングで、トルコの 5 大学が 500 位内にランクイン

イギリスの大学評価機関クアックアレリ・シモンズ社が発表した 2015-2016 年度の世界の大学ランキングで、394 位にビルケント大学、431-440 位に中東工科大学、441-450 位にはボアジチ大学及びサバンジュ大学、481-490 位にコチ大学がランクインした。1 位はアメリカのマサチューセッツ大学、2 位はハーバード大学、3 位ケンブリッジ大学となった。(9月15日付 HT 紙 19 面)

●長距離路線が 40 便へ増加

航空業界の情報サイト anna.aero (airline network news & analytics) で開催された「第 6 回ユーロアニーズ賞」で、イスタンブールのアタテュルク国際空港が「最も長距離便を導入した空港」に選ばれた。アタテュルク国際空港は昨年、長距離便の就航が 36 便であったが、本年 40 便に増加した。(9月16日付 HT 紙 13 面)

●運転手のみの乗車が渋滞の原因

イスタンブール商科大学のイルジャル教授(都市交通専門)によると、通勤時間帯の車の約 80% が、運転手一人だけで職場に通勤している自家用車で、こういった運転手の

増加が渋滞の一因となっている。一方で、最近 10 年間で整備された 150 キロメートル規模の鉄道建設は十分ではなく、イスタンブールには最低でも 400 キロメートル規模の鉄道を整備する必要があると強調した。一方、交通渋滞を避けるためにスマートフォンのアプリを利用していない人の割合は 35%に上る。最新技術の利用も渋滞緩和に必要であると話した。(9 月 17 日付 HT 紙 22 面)

●ヤロヴァ市が日本人技師のための追悼碑を設置

9 月 16 日、イズミット大橋の建設現場における事故に関連して亡くなった日本技師の故・岸竜一氏(享年 51 歳)の追悼式典が行われ、ヤロヴァ市によって追悼碑が設置された。追悼碑は 5 メートルの高さで、マルマラ海に近いガズィパシャ通りに設置されている。(9 月 17 日付 M 紙 6 面)



(写真は 9 月 17 日付 M 紙インターネット版から)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公社
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İşİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp
 WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html
 Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu
 ●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
 ●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【イスタンブール県及び近郊県内邦人被害統計】

イスタンブール邦人被害統計								
2014.1.1～2015.9.17 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー(相談)		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2014年		2件		4件		33件		5件
2015年	0件	4件	0件	2件	1件	13件	0件	6件

●今週は、ぼったくりバーの被害の届が1件ありました。

★当館HP更新のお知らせ★

- 本年9月、和太鼓グループ「鬼太鼓座」がトルコで初公演決定！
- 2016年度日本人学校入学説明会の開催について(09/16) **NEW**
- 治安速報：イスタンブール(09/18) **NEW**